

県立鎌ヶ谷西高等学校

目 標

- ・ 多様な文化を認め合う国際社会の担い手として、海外に興味を持ち、他者を尊重する態度を育てる。
- ・ 国際理解教育を推進するための校内・校外体制を構築する。国際理解に関する活動を系統立てて実践できるようにする。
- ・ 留学生などとの交流を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年10月1日（月）13時から17時
- (2) 会 場：本校体育館および1学年5教室
- (3) 留学生等：ワカタネ・トライデント高校の留学生8名、関係者2名
- (4) 参加者：第1学年275名、第3学年18名、教員11名、 計 304名
- (5) 内 容：

- ・ 全体会 ウェルカムパーティー

本校体育館にてお互いの学校を紹介し合った。具体的な内容としては、本校生徒（英会話選択者）が英語で司会や、本校の学校紹介等を行った。また、吹奏楽部、合唱部とも協力をし、日本の歌を紹介するなどのパフォーマンスをした。



- ・ グループ別交流会

2クラスは体育館にて、他5クラスは各教室にて交流会を行った。2クラスはレクリエーションとして、大縄跳びをトライデント高校生と共に跳び、お互い簡単な英語や日本語を使いながら親睦を深めていた。5クラスは、トライデント高校生に日本語で自己紹介、本校生徒は英語で質問をするというお互い逆の言語を使用し交流を深めた。5クラスは、トライデント高校生に向け手紙を書き手紙での交流も行った。



- ・ 折り紙交流会

放課後、1年生のボランティア数名がトライデント高校生へ折り紙の折り方を教え、お互い簡単な英語や日本語を使いながら交流を深めた。



- ・ 部活動見学ツアー

折り紙交流会終了後、1年生ボランティアと共に各部活動を回り、日本の部活動を見学した。



- (6) 事前学習：

1年生は総合的な学習を活用し、来校予定のトライデント高校があるニュージーランドについてスクリーンでクイズや動画を見ることで理解を深めた。3年生英会話選択者は、授業内にニュー

ジーランドについて調べ学習を行い、当日通訳ボランティアとして活動するため、英会話表現の学習や司会進行、学校紹介の準備、ウェルカムボードの作成等を行った。

(7) 事後指導：

トライデント高校生を迎えての感想や気づいた点をアンケートに記入させ、交流会の振り返りを行った。

(8) 参加者の感想等：

- ・通訳ボランティアとして、授業内で学習した表現を使用し、英語でコミュニケーションを取れたことがとても嬉しかった。
- ・お互いに自分の国を紹介し合い、初めて知ったことや日本の文化を改めて別の角度から見ることができた気がした。お互いの文化について理解を深められたと思う。
- ・ニュージーランドの高校生と交流できて、とても楽しかった。もっと英語を勉強して、たくさんの人と交流できるようになりたいと思う。
- ・ニュージーランドの高校生と交流できて楽しかった。連絡先も交換できたので、今後もお互いの文化を紹介するなど連絡を取り合い交流していきたい。

事業の成果

- ・3年生の英語会話選択者にとって英会話を使う実践の場として活用することができた。また、ボランティア生徒などは放課後などを利用し、司会や質問の準備などは総合の時間や授業を使って事前準備丁寧に行ったことで、1学年全体の生徒にウェルカムの気持ちと、英語を使って交流をするという意識をしっかりとつけさせることができた。積極的に英語にチャレンジする姿が多く見られ、感想にもあるように「楽しかった」「これからも交流を続けていきたい」という前向きな気持ちと自信をはぐくむことができた。生徒同士はSNSの交換をしたり、今後につながる形で交流活動を終えることができたのは大きな成果である。
- ・トライデント高校の生徒にも自国を紹介してもらうなど、準備をしてもらったので、生徒同士、お互いにとって勉強の場になった。
- ・交流のノウハウをもった英語科の教員の熱意と行動力によって、生徒の英語力の向上も考えた充実した機会をつくることができた。

今後考えられる新たな取組

- ・授業や行事を通しての長期的な交流の可能性が考えられる。時間をおいて、「手紙を書く」など交流の継続ができれば良いと考える。
- ・成果を全職員に報告、共有することにより、ユネスコ委員としての校内の協力体制を強化し、より計画的な充実した活動をつくっていけると考える。